

こんにちは!
日本共産党の

小山ゆりえです



3月定例議会

学童保育所の待機児童解消・ 対象学年の拡大を求めて一般質問しました

蓮田市議会3月定例議会では平成24年度予算が提案され、可決されました。

市民要望を実現するために、日本共産党議員団が一般質問を行い、実現を求めてきた事業について「新一年生に算数セットを入学記念品として贈る」「公共交通導入に向けての調査委託費」などの予算が付けられました。(蓮田市後援会ニュース4月号参照)

その他、新蓮田サービスエリア周辺土地利用等検討事業や市政施行40周年事業などの予算が盛り込まれました。



【4月1日の日本共産党市政報告会(蓮田市図書館)で報告する小山議員】

また、3月議会の一般質問では「学童保育所の待機児童解消と4年生までの拡大」「蓮田の地域活性化へと結びつける施策の推進について」の2問を質問しました。

学童保育所の学年の拡大について、市長から「私も小山議員と
思いは同じです。なるべく早い時期に市内全域に展開したい」との
答弁があり、早く実現するように
がんばっていきたいと思います。
地域活性化についてはスマー
トICの開通、新蓮田サービスエ
リアの計画など絶好の機会でも
あり、これらを活かして農産物直
売所の建設をはじめとして、蓮田
の地域活性化に結びつく施策を
進めていくよう求めました。

引き続き、市民のみなさまの要望を取り上げ、実現のために力を
尽くして参りたいと思います。
どうぞみなさまのご要望・ご意見をお寄せ下さい。

小山ゆりえ

衆院小選挙区の埼玉13区演説会で並木としえ予定候補が訴え



【参加者の声援に応える
並木候補(左)と大門議員(右)】

4月14日(土)午後5時より春日部市民文化会館に大門みきし参院議員を迎えて、衆院埼玉13区(蓮田市、春日部市など)の演説会がひらかれました。
当日はあいにくの雨でしたが、全体で250名、黒浜地域からも10名が参加しました。
並木としえ予定候補は、小児医療センターの移転計画に触れ、「問題の根底に福祉切り捨て、医師不足をつくり出してきた国の政治に責任がある。今こそ命・暮らし最優先の政治をつくろう」と訴えました。
また大門議員は「原発ゼロをめざし、消費税増税を止めるためには日本共産党を伸ばすしかない」と訴えました。

黒浜沼、黒浜貝塚の 環境整備が進んでいます

黒浜沼周辺は3年前、県の「さいたま緑のトラスト保全第11号地」に指定され、市でも散策路の設置など市民のみなさんが、楽しめるよう整備を進めてきましたが、3月に駐車場が完成しました。より多くのみなさんが自然に親しんで行けたらと思います。

国指定黒浜貝塚に隣接していた大鷲飯店が解体され、道路からも黒浜貝塚の一部が見えるようになりました。黒浜貝塚の整備を行うために、市では土地の公有化を進めており（平成24年度で95%）、完了した後にはどのように整備され、その姿を見せられるのか楽しみます。

共産党市議 団は以前から環境保全地域の指定や地権者への助成を求めて実現させてきました。今後も環境保全のため力をつくしていきます。

【上が黒浜貝塚の大鷲飯店跡地、
下が黒浜沼の駐車場】



わたしのホットにゆうす

黒浜保育園近くにお住まいで、小学2年生のお子さんがある船橋由貴子さんは、インターネット上に「くろはま沼のほとり〜ほんこのへや〜」というブログを立ち上げています。

ブログの冒頭には「放射能汚染による子どもへの影響を心配しつつ、日々の記



【ブログのタイトル部分。
1～2週間毎に更新】

録を残したいと思っています」と書かれています。学校や公園、さらには学校給食1食分の放射能測定を新婦人の会の一員として行い、ブログに載せて多くの人に知らせています。

パソコンやケータイから、ぜひ一度「ほんこのへや」にアクセスして下さい。



【学校給食1食分の放射能測定は農民連に依頼】

日本共産党黒浜後援会の 総会が開かれました

3月25日（日）午後2時より環境学習館において、黒浜後援会の総会が開かれました。13名が参加し、今年度の方針と役員を決めました。後援会会長はこれまで務めてきた石塚福子さんから飯島美枝子さんに交代となりました。

総会終了後、会員の諸根さんを講師に日本共産党の「社会保障充実、財政危機打開の提言」を学び、総選挙での日本共産党の躍進を誓いあいました。

あ
と
が
き

この6号で発行よりまる1年経ちました。12号の発行をむかえる時には今よりもっといい政治を実現しなければ、と日々思うこの頃です。